

浦幌

2025
7
No.705



第58回浦幌町家畜共進会

第50回通常総会 全議案承認

6月6日、午前9時30分より浦幌町中央公民館にて第50回通常総会が開催されました。当日は正組合員255名中、本人出席105名、委任状出席5名、書面出席84名の合計194名出席のもと開会宣言がされました。

林組合長が開会挨拶を行い「昨年の本町農業は、極端な気象状況と依然として高止まりが続いている資材の影響により営農環境として厳しい状況の年であり、ここ数年にわたる農家経済への大きな影響を考慮し、皆さまの生産基盤を立て直すための足がかりとなる一年とすることを役員共通のテーマとして務めさせていただきました。そうした中で、農協の農畜産物取扱高は148億3千万円の実績となり、組合としても史上2番目の実績を確保させて頂くことができました。これは、ひとえに組合員の皆様の日々の営農努力の積み重ねと、併せて本日も臨席を頂いている町・行政はじめ関係機関の皆様のお力添えのおかげだと改めて敬意と感謝を申し上げます。現状の経営コストの増嵩状況を嘆いていても前には進めません。厳しい状況を受容し、再生産可能な所得を生み出していくかは非常に高いハードルであり、時

として異次元の努力が必要と思っております。このことを本年の役員員全体の共通認識として組合運営に努めていきたいというところでスタートを切らせていただいております。」と述べました。

続いて浦幌町長井上亨氏、ホクレン農業協同組合連合会代表理事会長篠原末治氏より祝辞をいただきました。その後、坂下文将氏、大西勝博氏が議長に選出され令和7年度事業計画の設定など全6議案を審議し、原案通り可決されました。

最後にJAうらほろ青年部長佐藤泰裕氏より決意表明がされ、総会は終了しました。

また、今総会後には静内の鳴海雅衣氏と常室の竹村恵美氏へ参与の委嘱状授与が行われました。



林組合長開会挨拶

令和6年度事業実績

総務事業

組合員皆様のご理解・ご協力による出資増口により、出資総額は11億8千8百万円（前年比99・9％）、純資産は31億1千万円（前年比101・0％）となりました。また、固定資産は計画に基づいた設備投資により12億2千2百万円（前年比97・9％）になりました。自己資本比率は前年比3・38ポイント増の26・11％、固定比率は前年比7・7ポイント増の246・9％となり、政令基準を上回る健全な財務状態を確保することができました。

信用事業

融資 手形貸付金は物価高騰や畜産販売価格の下落により増加し、2億7千1百万円（前年比4千2百万円増）となりました。一方、証書貸付金は農業資金による機械導入や設備投資が進み、残高は前年より35億6千1百万円（前年比3億5千9百万円増）となりました。また、組合員勘定を含めた貸出金は39億9千4百万円（前年比3億6千6百万円増）となりました。

貯金 マイナス金利政策解除や政策金利引き上げの中、1年間に4回の金利引き上げを実施し、顧客の利便性向上が期待されるJAバンク非対面チャネル（アプリ、ネットバンク）の利用や資産形成・運用に向けた「農業者年金」「iDeCo」のサービス商品を推進しました。貯金残高は、普通

貯金（営農口を含む）と別段貯金（営農貯金含む）を併せ、111億1百万円（前年比2億4千4百万円増）となり、大半は営農口（組合員勘定）の増加によるものとなりました。定期貯金は79億9千9百万円（前年比5億7百万円減）となり、総貯金残高は193億4千2百万円（前年比2億3千7百万円減）となりました。

共済事業

長期共済では未保障分野への対応と効率化を図ったものの、満期到来や解約の影響で新契約が減少し、保有高は301億9百万円（前年比96・9％）となりました。一方、短期共済はキャンペーンや契約保障の拡充が効果を発揮し、契約件数は前年同期比101・7％、掛金は102・8％となりました。

購買事業

生産 生産資材事業は、原材料価格の高騰や物流コストの上昇、円安の影響で供給価格が高止まりしています。この中、各種奨励策や予約購買、早期引き取りを通じて生産コストの低減と安定供給に努めました。肥料は4・7％の価格上昇となりましたが、適正施肥提案やコスト低減銘柄の推進を行いました。農業は早期取りまとめや大型規格の推進により、取扱高は109・3％に達しました。飼料は価格変動を繰り返し、取扱高は94・5％となり、生産資材全体では各種展示会や取りまと

め等の実施により、100・6%となり、総体取扱高は96・0%で30億8千万円となりました。

農機 農機整備事業の年間取扱高は、整備 農機具の高騰等による取引減少

により前年対比で67・6%となり、車両も70・7%となりました。一方、修理資材と外注修理は価格高騰の影響で供給高が前年対比114・4%となり、全体の総体取扱高は前年対比82・4%の5億4千1百万円となりました。年間取扱台数は、車検整備は例年並みで貨物車の一般整備は減少したものの、農機具の修理が増加したため、総体として前年並みの98・9%となりました。

燃料 ロシアのウクライナ侵攻や円安 補助金の減額等により、燃料油

価格は高止まりしており、油類取扱高はガソリンが前年比99・0%、軽油101・5%、灯油109・1%、重油46・3%となり、総体取扱高は6億9千9百万円で前年比101・3%の実績となりました。しかし、価格高騰の影響でガソリンが前年比97・4%、軽油99・5%と買い控えが進んでおり、灯油は小麦乾燥用の需要が増えて103・7%、重油は大口供給先への納入がなくなったことにより35・8%となり、総取扱量は99・0%の5,067klでした。

販売事業

農産

小麦は前年秋の播種が順調に行われ、越冬前の生育は旺盛でした。越冬後の雪腐病の影響は軽微



議長(左から)坂下 文将氏
大西 勝博氏

で、概ね順調な越冬状態でした。春以降は高温少雨で茎数が減少したものの、7月以降の高温傾向で登熟が進み、成熟期は前年より6日早まりました。収穫作業も早く始まり、降雨が少なかったため順調に終了しました。穂数は前年並みで千粒重は重く、収量は701kg/10a(前年比100・7%)で全量が1等Aランクとなりました。

豆類は好天に恵まれ、播種作業は順調に進みましたが、大豆は出芽期に低温の影響を受けてやや遅れました。出芽後は高温により、全体的に開花時期が4～5日早まり、成熟期も大幅に早く迎えたものの高温少雨の影響で落花や落莢が見られ、一部菜豆及び小豆では登熟不良が発生し、収穫作業に影響が出ました。全体的に収穫は前年より早く終わり、手亡類を除いて着莢数は前年並みからやや上回りました。子実重は前年を上回ったものの、着色不良や汚粒が見られ、大豆でも皮切れやしわ粒が多く発生しました。収量は、小豆が2440kg/10a(前年比104・8%)、金時が156kg/10a(前年

比120・0%)、手亡が233kg/10a(前年比133・1%)となりました。大豆は播種前契約233haで前年比107・8%の面積となり収量は336kg/10aとなりました。

馬鈴しょは4月に降雨があつたものの、植え付け作業は前年並で終了し、萌芽と初期生育も順調でした。その後的高温少雨が影響し、茎の伸長は抑えられましたが、8月以降のまとまった降雨で生育は前年並みとなりました。上いも数・収量は前年を上回り、澱原用品種では4,277kg/10a(前年比99・3%)、ライマン価は19・58%(0・72%増)となりました。

てん菜の播種(直播栽培)・移植作業は降雨の影響で遅れましたが、高い気温と適度な降雨により順調に活着・発芽しました。その後、低温に見舞われましたが、茎葉の成長と根部の肥大は概ね良好でした。7月以降に病害虫が発生しましたが、防除の徹底により被害は抑えられました。根重は前年を上回り、収量は前年比111・9%の6,794kg/10aで、糖分はやや前年を下回る15・7%でした。

全体として豆類の品質は低下しましたが、全作物で前年を上回る収量を達成し、精算額も確保しました。総支払高は41億4千9百万円で、畑作物の経営所得安定策と合わせて前年比116・6%となる59億4千2百万円の取り扱いはありました。

宮農

サボート 春期作業は4月19日に始まり、昨年同様の好天の中で順調に進行しました。1番牧草の収穫は6月12日に開始され、12日間ほどで



佐藤泰裕青年部長
決意表明

終了しました。全体的な収量は例年より約1割増収となり、2番牧草も順調に終了しました。その後は、夏の堆肥散布作業へと移行し、業者への委託対応もあり遅延することなく作業を終了することができました。食用・加工馬鈴しょ収穫についても、24日間と過去にない短期間で終了することができ、デントコーン収穫では、多少の倒伏はありましたが、17日間と短期間で終了しました。

豆収穫期には高温多湿と、昨年の秋に似た条件となり大豆の2次生長や青茎と作業の遅延に繋がる結果となり、11月3日の終了となりました。秋期の耕起・碎土作業に於いては概ね計画通りでありましたが、最終の心土破碎はハーフソイラへの変更なども含めて30%減となり今年度の作業を終了しました。

畜産

酪農は現在、生乳生産抑制から脱却し増産基調に移行しているものの、飲用乳やヨーグルトの需要減少、バター不足、脱脂粉乳の在庫過多といった需給バランスの課題を抱えた

事業取扱高は、施工料で前年比90・4%、利用料で前年比106・9%となり、全体取扱高では、前年比100・5%の2億9千1百万円となりました。

ままです。また、生産資材価格は高止まりの状況にあり、乳価の引き上げによる収入増加が見込まれつつも、投資にむける余裕が生じる水準には遠く、持続性への不安が残る状況です。

令和6年度累計出荷乳量は54,837t（前年比104・7%）となり、生産基盤回復への対策として、酪農生産基盤強化対策事業の実施や良質乳生産対策、搾乳機器衛生対策としてゴム部品交換やクモの巢除去・害虫駆除への助成、生乳集荷前検査による抗生物質事故防止対策、バルククーラー・ミルカールの全戸点検、バルク乳モニター検査、乳質改善に係る原因菌検査を実施しました。

肉牛については、市場上場頭数の増加や肥育経営環境の厳しさにより個体販売価格の低迷が続きました。令和6年度終盤より相場が上昇傾向となっておりませんが、相場の安定は懐疑的であり酪農同様に経営コストの高騰による持続性への不安を抱えております。

肉牛振興対策では、優良繁殖雌牛の維持・増頭及び「うらほろ和牛」の生産振興を図るため肉用牛生産基盤強化対策事業を実施し、繁殖牛の導入・自家保留および増頭による助成を143頭（前年対比216・7%）、肥育素牛の導入は20頭（前年対比181・8%）、育種価未判明牛の導入は14頭（前年対比233・3%）の実績となりました。

また、早期改良を目的としたゲノム検査への助成と後代検定への協力支援メニューを新設し、併せて67頭の実績となりました。

畜産物取扱高は補給金を含めた乳代67億7百万円、乳用牛2億4千5百万

円（1,091頭）、肉用牛19億3千2百万円（6,492頭）、馬を含めた総取扱高は88億9千2百万円となりました。

剰余金処分案

令和6年度の当期未処分剰余金は8千1百25万円です。そのうち出資配当金として払込済出資金の0・5%相当の5百87万円、肥料・農薬・飼料などの利用に対する事業分量配当金に3千万円を充当、利益準備金・任意積立金の内部留保に3千8百10万円、次期繰越剰余金として7百27万円とすることで可決されました。

令和7年度事業方針

本年度の事業計画にあたり信用部門では昨年から17年間続いたマイナス金利政策の解除を受け、金融政策を注視し適正な金利変動への対応を図りながら融資・貯金残高の伸長を目指します。また、営農計画を活用した経営分析や専任担当者によるサポート体制を充実させ、農家所得向上や経営改善などの総合的支援に努めてまいります。

農産事業では基幹品目における生産性の底上げを体系的に促進するため関係機関との連携のもと生産者への営農指導体制を強化し、そのための職員の研鑽と専門知識の共有を図ります。また、販売力強化戦略としては昨年に引き続き白花生、福白金時、大手亡の作付け推進を行い、「白い菜豆類」の産地形成により実需者ニーズに応えてまいります。

畜産事業では酪農生産振興対策として各種助成事業の見直しを行い、持続

的・安定的な経営基盤のより一層の強化を目指した現場対応と良質乳生産体制の充実を図ります。肉牛生産振興対策としては、高い生産性が期待できる多様な血統の導入により牛群の改良に努め持続可能な生産基盤の整備と強化を図ります。また、補助事業等を活用し飼養環境の改善や生産性の向上に資する取り組みを支援し、さらに地域に密着した事業展開では関係機関と連携し環境に即した経営を啓蒙してまいります。

購買事業生産資材部門では需要に沿った商品提案と営農コスト低減の取り組みとして土壌分析に基づく適正施肥の提案の他、高窒素肥料銘柄を中心とした推進に努めます。また、営農支援の強化では関係機関と連携を密にし、施肥防除の実証実験と研修会の実施により技術普及や地域生産体系の構築に努めてまいります。

最後になりますが、本年も農作業事故・災害なく組合員の努力が報われる1年であることをご祈念申し上げ事業方針といたします。



（左から）鳴海 雅衣 参与
竹村 恵美 参与

新執行体制決定

6月6日、通常総会後に開催された理事会並びに監事会において、次の通り新執行体制が決定しました。

また、今般の役員改選で退任された高木専務理事、高橋信用担当理事、坂口理事、塚田理事、部田代表監事には永きにわたり、農協運営にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

▽新執行体制（敬称略）

代表理事組合長 林 常行（再・美園）
専務兼兼担理事 佐藤 泰彦（昇・栄穂）
理事 砂原 和吉（再・川流布）

江ノ上 秀行（再・活平）
石原 英之（再・万年）
長浜 義昭（新・愛牛）
山田 卓（新・稲穂）
山田 史弥（新・朝日）
佐藤 利範（再・緑町）
浅利 尚宏（新・万年）
川畑 博幸（昇・円山）

学識経験者兼参事
肩掛理事兼参事
常勤監事

代表理事 山口 文博（再・釧路市）
常勤監事 伊場 満広（再・恩根内）
監事 鳴海 雅衣（再・静内）
参事 竹村 恵美（再・常室）

理事会内の各専門委員会の委員構成が協議され、次の通り決定しました。

（敬称略）

▽農産専門委員会

砂原 和吉（委員長）、川畑 博幸、伊場 満広、竹村 恵美

▽畜産専門委員会

江ノ上 秀行（委員長）、長浜 義昭、山田 卓、山口 文博、鳴海 雅衣

▽購買専門委員会

石原 英之（委員長）、山田 史弥、伊場 満広、鳴海 雅衣、竹村 恵美

▽入札委員会

山田 卓、山田 史弥

退任挨拶



前 専務理事
高木 政志

この度の役員任期満了に伴い、専務理事を退任致しました。平成19年より6期18年間、うち令和元年より2期6年間は専務理事として長い間、無事に職を全うできましたのは、ひとえに組合員並びに役職員の皆様方の温かいご支援とご協力があったこそと、心より感謝申し上げます。

この18年間農業を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。

こうした時代の転換期に、皆様とともにJAうらほろの発展に関わることができたことは、私にとって大きな宝物であり、かけがえのない経験となりました。我々農業者の使命は食糧生産を続けていくことだと思えます。今一度、その責任と大きな誇りをもって日々の地道な作業に励んでいきましよう。

最後になりますが、組合員並びに役職員の皆さまのご健勝とご多幸、また事故なく豊穡の秋を迎えられること、そしてJAうらほろの更なる発展を心よりご祈念申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。



前 信用担当理事
高橋 福一

この度、任期満了により理事を退任するにあたり一言ご挨拶申し上げます。3期9年間にわたり組合員並びに役職員の皆様のご協力を頂き、特に3期目には信用担当理事という重職を務めることが出来たことに心より感謝申し上げます。

現在の農業情勢は、生産資材や飼料、農業機械などの高止まりによる生産費の上昇が、経営を圧迫しております。農業基本法の改革に大きな期待を寄せておりますが、なかなか思うように進展しないことが日本の農政の現状です。今後、情勢が少しでも好転していくことを心より願っております。

組合員の皆様は日々、所得向上に向けて努力されておりますが、今後も非常に厳しい状況が続くことが予想されます。そのような中にあつても、組合員並びに役職員が丸となり英知を結集すれば、乗り越えることができると思っております。

最後になりますが、組合員並びに役職員の皆様のご健勝とJAうらほろの益々のご発展をご祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



前 理事
坂口 福司

このたび、浦幌町農業協同組合の理事としての任期を満了し、6年間の務めを終えることとなりました。在任中は、組合員の皆様をはじめ、多くの関係者の皆さまから温かいご支援とご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

この6年間、理事として地域農業の発展と組合運営に関わらせていただき、数多くの貴重な経験をさせていただきました。とりわけ、畜産専門委員会の委員長として、地域の畜産業が抱える課題や将来像について、委員の皆さまと共に真剣に議論し、取り組んでまいりました。家畜飼養管理や経営の効率化、後継者不足といった問題に直面しながらも、地域の知恵と協力のもと、一歩ずつ前進できたことに深い感慨を覚えております。

今後は一組合員として、これまで以上に地域農業の発展に関心を持ち続け、微力ながら応援してまいりたいと考えております。皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。



前 理事
塚田 健一

このたび、浦幌町農業協同組合の理事の任期を満了し退任することとなりました。就任以来、組合員、役職員皆様のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

在任中は、国内外の情勢変化により、飼料や肥料をはじめとする生産資材の高騰や、畜産の個体販売価格の下落などは農業経営にとって大きな課題となつてまいりました。経営の安定化に向けた取り組みが一層求められる状況の中、組合の発展や、地域農業の振興に少しでも寄与できるよう努めてまいりましたが、未だ至らぬ点多々あったことと存じます。私の未熟さゆえにご迷惑をおかけしたこともあったかと存じますが、これまでのご厚情に深く感謝申し上げます。退任後はこれまでの経験を生かし、引き続き地域農業や組合の発展に微力ながら協力させていただきますと考えております。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



前 代表監事
部田 晃司

この度の役員改選により3期9年間務めさせて頂いた監事の職務を退くこととなりました。在任中は組合員各位並びに役職員の皆様に多くの御指導を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

9年間を振り返りますと、農協のため、そして組合員の皆様のために然したる力になれなかったことを申し訳なく思い、自らの非力さを痛感しております。私個人としては、監事の職務性質上、職員と接する機会が多様な接点の中から深く交流することが出来たことが大きな収穫として残りました。職員各位の今後の成長に大きな期待をよせています。

今後においては、農協にとつても課題が山積していますが、組合長を先頭に役職員が丸となり組合員各位との合意形成に心を砕くことを大切にしながら新しい時代を創造していくことを心より期待しています。

結びに浦幌農協の今後更なる発展を心よりお祈り申し上げます。退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。

就任挨拶



理事
山田 史弥

このたびの役員改選により、理事に就任させていただくこととなりました、朝日地区で畑作専業農家をしている山田史弥と申します。

最近の農業情勢は、さまざまな変化が見られ、特に食料自給率の向上や持続可能な農業の推進が求められています。私たちの地域でも、気候変動や国際的な競争が影響を及ぼしており、これまで以上に組合員同士の協力が必要だと感じています。

私自身これまで地域の農業や農家の皆様と密接に関わってまいりました。今日営農できているのも皆さまから教えていただいた、農業技術や知恵のおかげです。父を亡くしてから本当にたくさんの方にお世話になり、助けていただきました。その恩を少しでも返していけるように誠実に自身の役割を果たしていこうと思います。

私自身まだまだ未熟であり、皆さまから学ぶことばかりです。皆様のご意見やご指導を大切にしながら、共に地域農業の振興と持続可能な発展を目指していきたいと考えています。皆様と協力し合い、地域の農業をより良い方向へ導いていけるよう努力してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



専務理事
佐藤 泰彦

日頃組合員の皆様方には農協事業に対しまして特段の御理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

6月6日の第50回通常総会後の理事会に於いて専務理事に選任され、身の引き締まる思いです。

さて、国際紛争や円安傾向が続く中、肥料・飼料・燃料などの生産資材の価格高止まりにより農業・JAを取り巻く環境は大変厳しい状況が続いておりますが、どの時代においても難局は存在し、これまでも先人達は数多くの困難を乗り越え私達に繋いで来てくれました。今現在、組合員の高齢化が進み生産現場の人手不足が続く中、今後加速度的な組合員減少に伴い地域社会もこれまで以上に変化をしていかなくてはいけない状況にあると思います。

地域でご活躍されている組合員の皆様、そしてこれからを担う若い世代の皆様とこれまで以上にお話しする場を設けさせて頂き、希望を持って農業経営ができるよう将来を見据えしっかりとした方向性を示せるよう、また組合員の営農と暮らしに寄り添い、しっかり後世に繋ぎJA浦幌の組合員で良かったと思って頂けるよう役職員一丸となり運営活動してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

結びに組合員並びにご家族の皆様が健康で幸多き日々を送られ、実り多き秋を迎えられますよう心からお祈り申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



理事
山田 卓

この度、役員改選により理事という大役に就くことになりました、稲穂地区で畑作・畜産経営を行っております。私自身が理事という役職に就くとは思いませんでしたが、組合員の皆さまの推薦と承認を賜り、身の引き締まる思いでおります。このような大役を仰せつかりましたこと、心より感謝申し上げます。

現在、農業を取り巻く環境は大きく変化しており、組合としての役割もますます重要になってきております。私自身、微力ではございますが、皆さまと力を合わせ地域農業の持続的発展と組合運営の健全化に尽力してまいります。

今後とも、組合員として、また理事として浦幌町農業及び浦幌町農協の発展のために誠心誠意取り組んでいく所存でありますので、組合員の皆様方の特段なる深いご理解・ご指導・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

今後とも、組合員として、また理事として浦幌町農業及び浦幌町農協の発展のために誠心誠意取り組んでいく所存でありますので、組合員の皆様方の特段なる深いご理解・ご指導・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



理事
長 浜 義 昭

このたびの役員改選にあたり、推薦を受けて理事へ就任致しました、愛牛地区で(有)ランドハートの取締役として経営に参画しております長浜義昭と申します。

農業に携わり、早いもので44年が経とうとしております。農業を取り巻く情勢は目まぐるしく変化しており、私自身も日々新たな課題や変化に向き合いながら歩んでまいりました。今後は農協運営に参加することとなりますが、長年にわたり営農の現場で培った主観的な思考と、農協役員としての客観的な思考を交え、今後の浦幌町農協・組合員の皆様のお役に立てればと考えております。皆様からの温かいご指導やご助言、そしてご支援を賜りながら理事としての責務を果たし、組合員の皆様のご期待にお応えできるよう、誠心誠意努めてまいります所存です。

最後になりますが、浦幌町農協の発展と組合員並びに職員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

就任挨拶



監事

伊場満広

この度の役員改選により、上浦幌地区より農協監事という大役に推薦いただきました、恩根内地区で畑作専業経営をしております伊場満広と申します。

まだまだ農協の仕組みを理解していない若輩者ですが、監事という職は農協運営で非常に責任のある職務であることは認識しているつもりです。職員皆様との対話を大切に、的確な監査ができるよう努めていきたいと思っています。そのためにも、先輩役員や組合員、職員皆様のご指導をいただき勉強を重ね、一日でも早くお役に立てるよう努力していく所存です。

農業情勢は近年、変化のサイクルが非常に早く、5年先もわからない状況です。当たり前が通用しない中で、監事としても求められるものが変化していくと思いますが、一つ一つ丁寧にコンプライアンスや数字と向き合いたいと思っています。

今後とも皆様のご指導をよろしく願いいたします。



代表監事

川畑博幸

日頃より、組合員の皆様には農協活動に対し深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。この度の役員改選により、代表監事という大役に就任致しました。

これまで2期6年を一般監事としての任にあたって参りましたが、今回の就任にあたり、その責任の重さを改めて感じております。

農業を取り巻く環境は、かつて経験した事のない大変厳しい状況にあり、だからこそ組合としての役割が益々大きくなっていると感じております。今後も、より良いJAうらほろの実現に向けて力を尽くして参りたいと思います。微力ではございますが、誠心誠意努めて参りますので引き続きのご指導・ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



信用理事

浅利尚宏

組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび、役員改選により信任を賜り、高橋前信用担当理事の後任として信用担当理事に就任いたしました。

信用事業は、長年続いたマイナス金利の解除や金融政策の変動、犯罪の増加など、多くの課題に直面しております。こうした中、より高度な対応が求められる状況にありますが、皆様のご期待にお応えできるよう、適切な信用業務の運営とリスク管理を徹底し、安心・安全な金融サービスの提供を目指してまいります。

未熟な身ではございますが、農業者の所得向上や経営改善を支援し、組合の安定と発展に努めてまいります。今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、組合員の皆様とご家族の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

「熱中症対策」が事業者に義務付けされました!

令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行され、「職場における熱中症対策の強化」が必要となりました。
事業者^{※1}には「体制整備」「手順作成」「関係者への周知」が義務付けられます。

義務の対象は、「気温が31度以上」もしくは「WBGT^{※2}が28度以上」の作業場で、「継続1時間以上」または「1日当たり4時間を超えることが見込まれる」作業に限定されます。

→つまり炎天下・高湿度環境(ビニールハウス内・倉庫内・牛舎内など)になりやすい農作業は、該当する可能性が高いと考えられます!

対応を怠ると罰則「6カ月以下の懲役または50万円以下の罰金」が適用されます。**「いつもと違う」と思ったら**

見つける

判断する

対処する

※1 事業者とは

主に労働安全衛生法で用いられる用語で、労働者を使用する事業を行う者を指します。具体的には、個人事業者（個人が行う事業）や法人（会社など）を含みます。従業員数等の規模は関係ありません。

※2 WBGTとは（暑さ指数）

「湿度・輻射熱・気温を勘案した湿球黒球温度」と定義されています。（環境省の熱中症予防情報サイトにて確認できます）



出典：農林水産省HP

熱中症を疑いましょう

自覚症状・・・

- ・手足がつる
- ・立ちくらみ・めまい
- ・吐き気
- ・汗のかき方がおかしい（汗が止まらない/汗が出ない）

第三者目線で・・・

- ・イライラしている
- ・ふらふらしている
- ・呼びかけに反応しない
- ・ぼーっとしている



※詳細は厚労省HPをご覧ください。

青年部活動（下り線ブロック夏期スポーツ交流会）



集合写真

6月18日、カールプレックスおびひろで下り線ブロック夏期スポーツ交流会（主催…幕別町農協青年部）が開催され、当JA青年部から盟友5名が参加しました。

今回はカールリングが行われ、試合中は笑顔や声援が絶えず和やかな雰囲気の中で競技を楽しみました。

その後、懇親会が東海樓（帯広市）で行われ、各組組盟友と親睦を深めました。

新規就農者激励会



前列左から林組合長、笹島涼華さん、円子 亘さん、
玉置真唯斗さん、高木前専務

6月2日、農業会館大会議室で令和7年度新規就農者激励会を開催しました。今年度は、新規就農者3名が参加し、林組合長より激励の言葉、食懇談会が行われ、和やかな雰囲気の中、交流を深めました。新規就農者からは今後の農業への抱負や意気込みが語られ、地域農業を担う新たな力として期待が寄せられました。JAうらほろは、今後も新規就農者の支援に力を入れてまいります。この度就農された方々には、今後のご活躍を期待するとともにお祝いを申し上げます。

なお、当日出席できなかった角田栄美さんには、7月2日に上浦幌団地センターで佐藤専務より、激励状と記念品が贈られました。



角田栄美さん



昼食懇談会



第3回理事会



6月6日、役員室において理事会を開催し、議案6件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・代表理事組合長及び専務理事の選任について
- ・審査担当理事及び信用担当理事の選任について
- ・理事の職務代理順位の決定について
- ・役員報酬の支給について
- ・JAうらほろ参与手当の支給改定(案)について
- ・役員退職慰労金の支給について

○報告事項

- ・情勢報告
- △総務部▽
- ・人事の発令について



第4回理事会



6月19日、役員室において理事会を開催し、議案9件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・出資金の持分譲渡及び脱退について
- ・業務報告書の行政庁提出について
- ・浦幌町森林組合への出資増口について
- ・令和6年度決算に係る監事監査実施結果に基づく回答について
- ・人事ローテーションに係る特例の適用について
- ・役員賠償責任保険契約の締結について
- ・常勤理事の引継ぎの立会人について
- ・固定資産の取得について(青果馬鈴薯選果施設 選果PC・カメラ更新)
- ・固定資産の取得について(西町倉庫 各施設照明LED化工事)

○協議案

- ・新事務所建設に係る素案について



第3回理事会



6月6日、役員室において理事会を開催し、議案6件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・代表理事組合長及び専務理事の選任について
- ・審査担当理事及び信用担当理事の選任について
- ・理事の職務代理順位の決定について
- ・役員報酬の支給について
- ・JAうらほろ参与手当の支給改定(案)について
- ・役員退職慰労金の支給について

○報告事項

- ・情勢報告
- △総務部▽
- ・人事の発令について



第4回理事会



6月19日、役員室において理事会を開催し、議案9件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・出資金の持分譲渡及び脱退について
- ・業務報告書の行政庁提出について
- ・浦幌町森林組合への出資増口について
- ・令和6年度決算に係る監事監査実施結果に基づく回答について
- ・人事ローテーションに係る特例の適用について
- ・役員賠償責任保険契約の締結について
- ・常勤理事の引継ぎの立会人について
- ・固定資産の取得について(青果馬鈴薯選果施設 選果PC・カメラ更新)
- ・固定資産の取得について(西町倉庫 各施設照明LED化工事)

○協議案

- ・新事務所建設に係る素案について



第3回理事会



6月6日、役員室において理事会を開催し、議案6件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・代表理事組合長及び専務理事の選任について
- ・審査担当理事及び信用担当理事の選任について
- ・理事の職務代理順位の決定について
- ・役員報酬の支給について
- ・JAうらほろ参与手当の支給改定(案)について
- ・役員退職慰労金の支給について

○報告事項

- ・情勢報告
- △総務部▽
- ・人事の発令について



第4回理事会



6月19日、役員室において理事会を開催し、議案9件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・出資金の持分譲渡及び脱退について
- ・業務報告書の行政庁提出について
- ・浦幌町森林組合への出資増口について
- ・令和6年度決算に係る監事監査実施結果に基づく回答について
- ・人事ローテーションに係る特例の適用について
- ・役員賠償責任保険契約の締結について
- ・常勤理事の引継ぎの立会人について
- ・固定資産の取得について(青果馬鈴薯選果施設 選果PC・カメラ更新)
- ・固定資産の取得について(西町倉庫 各施設照明LED化工事)

○協議案

- ・新事務所建設に係る素案について

タンチョウの農業被害対策について（環境省 北海道地方環境事務所） 第2回 生態・現状等と農業被害対策【畑作編2】

環境省 北海道地方環境事務所です。今月もタンチョウの生態や農業被害の対策等についてご紹介していきます。

◆タンチョウの生態・現状等 【換羽】

この時期、繁殖している個体は生まれてから2か月程度のヒナを連れて生活しています（写真①）。ヒナが飛べるようになるのは生まれてから100日程度が経ってからなので、まだしばらくの間ヒナは飛ぶことは出来ません。成鳥

もこの時期に一齐に羽を落とし、新しい羽に生え替わります。これを「換羽（かんう）」といいます。換羽は数年に1回程度の頻度で起こると言われていますが、はつきりしたことはわかっていません。飛ぶために必要な風切羽が数日の間に一齐に抜け、新しい羽が生えそうまで、約50日の間、飛ぶことが出来なくなります。換羽の間は天敵に遭遇しても飛んで逃げる事が出来ないため、非常に警戒心が強くなり、人の生活圏の近くになわばりを構え、ある程度人慣れしてしまった個体でも、人目を避けて生活することが多くなります。

川や湿地などタンチョウの生息地周辺では、タンチョウの大きな羽が1箇所にかたまったり何枚も落ちているのを見かけることがあります。

す（写真②）。このような羽を見かけたら、近くに換羽中の個体がいると考えられます。

ちなみに、タンチョウが立っている時、お尻の羽が黒く見えますが、あれは翼の一部で、実際の尾羽は白色です。タンチョウは縁起のよい「鶴」として着物や和食器など様々なものにモチーフとして取り入れられていますので、描かれている「鶴」を見たら是非この点も確認してみてください。

◆タンチョウの農業被害対策 【畑作編2】

前号で畑作での農業被害の対策は、「人が追い払いを行う」ということが基本とお伝えしました。追い払いを行う上で非常に重要なポイントとして、「タンチョウが現れたら、出来るだけ早いタイミングで追い払いを行う」ということが挙げられます。これまでタンチョウが来ている圃場にタンチョウが現れたら、その圃場では特に重点的に追い払いを行ってください。つがいになり、付近で子育てを始めると、タンチョウはそのなわばりに強く執着するようになります。追い払いが難しくなってしまう。

また、追い払いを行う際、車や農作業機械は既にタンチョウ達にとって日常生活の一部となっていて、車や機械で近づいてもあまり警戒

しません。追い払いでは、直接タンチョウに人の姿を見せ、人の気配をタンチョウに伝えることも大切です。

― 次回8月号に続きます ―



写真② 換羽で落ちた羽



写真① 7月の家族



「ぎんこ」号



審査の様子（肉牛）

第58回浦幌町家畜共進会

5月29日、第58回浦幌町家畜共進会が乳牛6頭と肉牛24頭の出陳により開催されました。

会場では和牛肉やハンバーグの販売（どちらも当日完売）、最高位審査での予想投票等のイベントも行われ、来場者・出陳者ともに終始楽しく和やかな時間を過ごすことができました。

審査は（株）野沢組の小泉貴大氏（乳牛の部）、十勝農業協同組合連合会の由佐哲朗氏（肉牛の部）により厳正に行われ、出陳牛の発育や体型・骨格等の比較により序列が決められています。

また、肉牛の部では十勝共進会への出場に向けた研修や群編成の検討も併せて実施し、出陳者や担当職員は一層の団結と意識高揚を共有していました。今後の更なる躍進を期待しています。

なお、出陳牛の成績は下記の通りです。



審査の様子（乳牛）



「LH カモミール ドアマン サイドキツク」号

第58回浦幌町家畜共進会最終成績

（出陳者名敬称略）

○乳牛の部

区分・順位	名 号	出陳者	住 所
未 経 産 の 部 最 高 位	サニーライズ ウイズ ハズイット リアン	（株）サニーライズ	活 平
準最高位	マトバ デイスティニー ハンコツク E T	（株）的 場 牧 場	朝 日
経 産 の 部 最 高 位	LH カモミール ドアマン サイドキツク	（有）ランドハート	大 平
準最高位	LH ブリタニー ユニクス サイド E T	（有）ランドハート	大 平
第2部（未經産・10ヶ月以上13ヶ月未満）	1 サニーライズ ウイズ ハズイット リアン	（株）サニーライズ	活 平
第3部（未經産・13ヶ月以上16ヶ月未満）	1 ハイブリッド ルピコン ベター	（株）デリープリーダー	朝 日
第4部（未經産・16ヶ月以上18ヶ月未満）	1 マトバ デイスティニー ハンコツク E T	（株）的 場 牧 場	朝 日
第8部（経産・48ヶ月以上）	1 LH カモミール ドアマン サイドキツク	（有）ランドハート	大 平

○肉牛の部（黒毛和種・雌）

区分・順位	名 号	出陳者	住 所
最 高 位	ぎ ん こ	高 田 哲 雄	宝 生
準 最 高 位	こ み つ	高 田 哲 雄	宝 生
第1部（未經産・6ヶ月以上10ヶ月未満）	1 ぎ ん こ	高 田 哲 雄	宝 生
第2部（未經産・10ヶ月以上15ヶ月未満）	1 こ み つ	高 田 哲 雄	宝 生
第3部（未經産・15ヶ月以上26ヶ月未満）	1 と み か	田 野 勝 也	相 川
第4部（経産）	1 よ う こ	高 田 哲 雄	宝 生

新パズル(7月)

ウ	ヨ	チ	□	シ	ン	モ	ズ	ト
シ	キ	ノ	ユ	デ	カ	サ	リ	サ
ウ	オ	ス	エ	ー	イ	ツ	ワ	ク
ボ	サ	カ	ス	カ	リ	ゴ	コ	ラ
ク	ク	ザ	ラ	イ	ラ	ツ	ク	ウ
ツ	メ	マ	ン	ト	グ	ザ	プ	ヨ
ク	ツ	バ	メ	カ	ン	ウ	マ	キ
ツ	□	シ	ウ	ガ	ガ	ボ	ナ	キ
エ	シ	サ	ヒ	グ	ラ	シ	カ	ル

ウグイス ウメ カエデ カキ カッコウ カラマツ
 鶯、梅、楓、柿、郭公、落葉松、
 キキョウ クリ クワ サクラ サザナカ サシバ
 桔梗、栗、桑、桜、山茶花、鸛、
 シオカラトンボ シロツメクサ ススキ チューリップ
 塩辛蜻蛉、白詰草、薄、鬱金香、
 ツクツクボウシ ツバメ デイゴ ナシ ヒガンザクラ ヒグラシ
 寒蝉、燕、梯梧、梨、彼岸桜、蛸、
 モズ モンシロチョウ ライラック
 百舌、紋白蝶、紫丁香花

□解き方

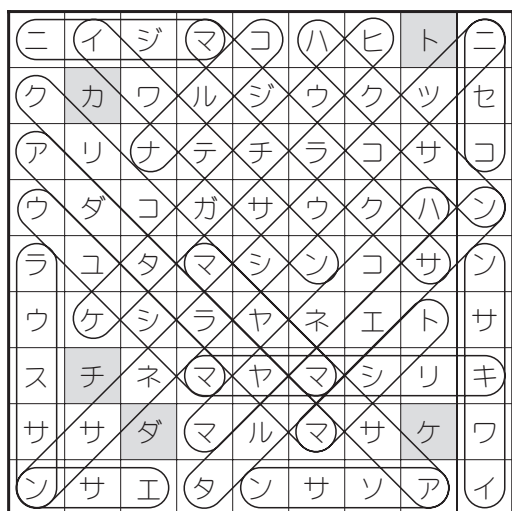
気象庁では全国で統一した基準により、ウメやサクラの開花した日やカッコウやウグイスが初めて鳴いた日などの「生物季節観測」を行っています。今回はその観測種目を集めてみました。

使わなかった文字を上から順に並べてできる漢字1文字をお答えください。

□発表

正解は本紙8月号に掲載します

※ご意見・ご要望等がございましたら、企画振興課教育情報係までお問合せ下さい。(TEL・578-1706)



6月号の
 答は
 ANSWER
 トカチダケ(十勝岳)
 でした



バケツ稲(水稻)の植え付け作業

6月11日、子ども農業体験学習を浦幌町立浦幌小学校(山上文博校長)の3年生19名を対象に開催しました。今年は例年の馬鈴薯や白花豆に加え、カボチャ・枝豆・トマトを植え、また初の試みとして専用キットを用いた「バケツ稲」で水稻栽培に挑戦しました。

担当の川畑副部長は「子どもたちだけでなく盟友にとっても初めての経験となる『バケツ稲』の栽培という貴重な経験を通じて

青年部活動(子ども農業体験)

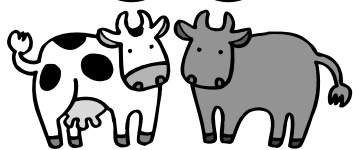


子ども農業体験学習の様子

で、子どもたちが食べ物の大切さを実感してくれることを願っています」と話していました。また、終了後には参加した子どもたちから「優しく丁寧に教えてくれて楽しかった」と感想とお礼の言葉が贈られました。

ちくさん

情報



詳しくは
宮農販売部
畜産課まで
お問い合わせ
下さい
☎576-4115

◎ホクレン十勝家畜市場

・育成市場（6月12日）（単位：円 ※税込み価格）

	販売頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛	0	0	0	0	314,760

・乳牛市場（6月9日）（単位：円 ※税込み価格）

	販売頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊牛(ET除)	1	631,400	631,400	631,400	626,698
初妊牛(ET)	0	0	0	0	844,712
経産牛	0	0	0	0	501,889

次回市場 育成牛 7月9日（農協順：8）

乳牛 7月7日（農協順：22）

8月市場 育成牛 8月7日（農協順：18）

乳牛 8月5日（農協順：12）

・肉牛市場（6月3日）（単位：円 ※税込み価格）

	販売頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢)	66	1,010,900	350,900	720,933	769,379
和牛素牛(雌)	30	777,700	416,900	639,320	634,230
繁殖雌牛	3	783,200	675,400	744,333	643,951
廃用牛	10	669,900	382,800	492,910	492,967

次回市場 7月3日・17日

（農協順 黒毛：10・交雑牛：8）

8月市場 7月31日・8月19日

（農協順 黒毛：1・交雑牛：3）

◎ホクレン十勝枝肉市場（6月市場平均）

（単位：kg/円 ※税抜単価）

	A-5	A-4	A-3	A-2	平均単価
和牛	2,124	1,926	1,701	1,630	2,045
	AB-5	AB-4	AB-3	AB-2	平均単価
和牛	1,490	1,460	1,400	1,209	1,367

次回市場 7月5日・19日

8月市場 8月2日

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場

7月開催日

1日・4日・8日・11日・15日・18日・22日・25日・29日

8月開催日

1日・5日・8日・12日・15日・19日・22日・26日・29日

◎畜産公社出荷日 7月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

△暑熱ストレスが牛にダメージを与えるメカニズム①▽

暑熱ストレスは牛に大きなダメージを与え、回復にも多くの時間が必要になります。今回と次回のコラムでは、なぜ暑熱ストレスによってそのような状態になるのかを解説します。

牛は暑熱ストレスを感じ始めると熱を外に出す・軽減する行動を始めるようになり、強度によって他の行動より優先的に実施します。他の行動とは、餌を食べる・水を飲む等を指します。飼養方法によって暑熱を回避する行動は異なりますが共通することとして、人間と同様に暑い環境下では涼しい場所に留まることで行動量が減り、食欲も低下します。食欲が低下し採食量が減るとエネルギーが不足している分を体内で生産し補うため体重が減り始めます。乳用牛においては体重が減少する前に乳量が極端に減少します。これは、体内のエネルギーは生存、生産、体への成長、繁殖、その他の順に優先して配分されることから生存エネルギーを必ず確保する分他に回せるエネルギー量が減少するため起こります。

次回に続きます。

◎浦幌町の乳牛頭数（搾乳農家）5月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
4,939頭	614頭	5,553頭	2,601頭	8,154頭

◎生乳生産量（5月出荷分）

実績乳量	前年実績対比	5月実績乳量	5月前年対比	搾乳牛1日1頭当乳量
4,887 t	103.0%	9,565 t	102.7%	31.9kg

◎生乳成分と乳代単価（5月）

項目	脂肪率 %	無脂固形分率 %	単価内訳(円)			
			生乳単価	補給金単価	集送乳調整金	合計
浦幌町	3.95	8.88	110.58	7.47	2.24	120.29
十勝	3.99	8.87	110.98	7.47	2.24	120.69
全道	4.07	8.86	112.09	7.47	2.24	121.80

※乳代について(令和2年4月分より共販経費控除前の金額を使用しております。)

◎衛生的乳質検査結果（5月）

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3	1	
浦幌町	111 (97.3)	1 (0.8)	2 (1.9)	99 (92.5)	38
十勝	2,749 (97.5)	60 (2.1)	9 (0.4)	2,569 (94.2)	940
全道	12,176 (96.8)	380 (3.0)	16 (0.2)	10,514 (89.0)	4,192

※上段は3旬計の件数：下段（ ）は%

第2回でん粉原料用馬鈴しょ栽培共励会

上出哲也さん(相川) 「ホクレン農産部長賞」受賞!!



表彰状を手にする上出哲也さん(前列左)

今回の表彰式については、ホクレンHPでも紹介されていますので、右記二次元バーコードからご覧ください。

また、上出さんの取組みはHP内の「令和6年度北海道産でん粉馬鈴しょ優良事例集」に掲載されています。



6月10日、ANAクラウンプラザホテル札幌で「第2回でん粉原料用馬鈴しょ栽培共励会表彰式」が開催されました。道内各地から生産者や関係者が一堂に会し、馬鈴しょ栽培における優れた技術や成果が表彰されました。

候補者は、全道の各でん粉工場管轄で1名が推薦され、ホクレンが事務局となり道や振興局も参加する審査委員会にて、7つの賞に選ばれます。令和6年度は、東工連管轄でトップの収量を確保している上出哲也さんが選出され「ホクレン農産部長賞」を受賞しました。

上出さんは「この度は『ホクレン農産部長賞』を頂戴し、驚きと共に、日々の取組みが評価され、大変嬉しく思います。この成果は、JAや関係機関をはじめ、まだまだ未熟な自分を支えてくれた家族や地域住民の皆様のおかげだと実感しております。今後も、今回の成果に慢心せず、より良い澱原馬鈴薯作りに貢献できるように精進してまいります」と話しました。

花壇整備

6月9日、当JA本所事務所の花壇整備を行いました。ペゴニアやマリゴード・サルビアが植えられ、ピンク・オレンジ・紫の彩りで明るい雰囲気となりました。これから見ごろを迎えますので、来所の際はぜひご覧ください。



編集後記

まだ7月の初めですが、すでに30℃を超える日が出てきました。夏がすぐそこまで来ているのを感じます。

今年は総務部の花壇に、トマト・ズッキーニ・なす・とうがらし・セロリ・パプリカの多種多様な野菜を植えてみました。作物を育てるのは初めてなので、毎日その成長の様子が気になって、つい眺めてしまっています。今後は誌面でも、野菜の様子を少しずつご紹介していく予定です。来所の際は、ぜひ野菜の成長もご覧になってください。

暑い日が続きますので熱中症対策として、こまめな水分補給や塩分の摂取、適度な休憩を心がけてお過ごしください。来月号もどうぞよろしくお願いします。



パプリカ

カレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事 項
7/14 (月)	第2回組合員の集い
16 (水)	JAうらほろ役員研修視察～17日
18 (金)	第5回理事会